令和８年度日本ビーチボール協会審判部　実技講習会報告書

富山県ビーチボール協会　審判部

審判部長　田中　春夫

1、 日時　：令和８年５月24日（日）９：30～11：45

2、 場所　：台東リバーサイドスポーツセンター体育館　第２競技場

【議事・統一事項】

（1）第３２回ジャパンカップ福岡大会について

① 主審台について･･･立って行う審判台の予定であったが、連絡ミスで違った審判台になってしまった

＊基本的に主審は立って行い、審判台の手すりに掴まったり足をかけたりしない。

② 審判の服装について･･･半袖の審判服の下に長袖のアンダーシャツやハーフパンツの方がいた

＊主審・副審・線審は指定審判服を着用する。

（上衣の半袖審判服着用の場合長袖のインナー着用は禁止、下衣は紺又は黒の無地の長ズボン）

③ 着用品について･･･リストバンドの着用・装飾品の着用

＊怪我による場合でもリストバンド着用は禁止、テーピングは主審の判断により許可をする。

＊ネックレス及びペンダントやイヤリングの着用については怪我防止により主審が判断する。

（2）質問及び確認事項について

① オーダー表の記入･･･大会当日に遅れてくる選手がいる場合のオーダー表の記入について

＊当日、参加する選手の全員を明記しておき、毎試合毎に主審へ申請する。

② プレーに対する質問･･･一方のチームの質問により判定が覆った場合に対する反対チームの質問できない？

＊１プレーにつき各チーム１回の質問を行うことができる。・・(審判の手引き　Ｐ２０：質問)

（主審は状況により判断し、副審と線審を呼んで協議を行う）

③ 得点変更･･･サービス開始の吹笛後の得点掲示は訂正できないのか？

＊サービス開始の吹笛後は、それ以前の点数は変更できない。

（主審・副審・線審は得点版の確認と得点掲示員は点数掲示の誤りが無いよう注意を行う）

＊明らかに得点掲示に誤りがあった場合は訂正を行うことが出来る。

④ インターフェアへの対応･･･インターフェアを行ったチームに直ぐに１点のペナルティ加算がされるのか？

＊サービス権があるチームに対してインターフェアをとった場合　・・　サービス権の移動

＊サービス権が無いチームに対してインターフェアをとった場合　・・　相手チームに点数「１」追加

⑤ サービス時の対応について

[主審]　サーバーがサービスを打ち終えるまで反則が無いか注視をする。

（前へ踏み出した足が床についた状態でつま先またはかかとが動く事は許容範囲とする）

[副審]　サービスボールのネット接触及びレシーバーのドリブルやホールディングの確認を行う。

[線審]　サービス選手の反則またはレシーブ側選手の反則の確認を行う。

⑥ 副審がブロックのワンタッチ確認時のシグナル･･･協会毎に異なるので統一シグナルとする？

＊ブロックのワンタッチが確認された場合、ワンタッチのあった側の手で「１」示す。

＊副審がワンタッチを確認できた場合は毎回出し、顔の横で眼の高さに出して主審に知らせる。

（上げた手は１～２秒程度で下げて良い）　　※　統一指導事項とし指導する

⑦ タイムアウトの対応について

＊セット中のタイムアウト：３０秒以内でもタイムアウト申請チームがタイムアウト終了で試合再開

＊セット間のタイムアウト：１分以内でも両チームがエンドラインに整列した時点で試合再開

⑧ ＡチームがＢチーム側にボールを返したが、ネット上でＡ・Ｂチームの選手が同時に触れた

＊Ａチームのオーバータイムス

⑨ コートにボールが入ってきた場合の対応について

＊プレーに支障や危険が無いと主審が判断した場合はプレーを止める必要は無い。

＊プレーに支障や危険と判断した場合・・副審：吹笛、線審：フラッグで主審に知らせる。

⑩ 線審のジャッジ対応について･･･判定に困り判定が出来なかったとき

＊主審が副審及び線審を呼び確認を行い、最終的に主審が判断を行う。